

# 解体革新を目指すエコリサイクル啓発事業

## (1) 事業の内容

### これまでの経緯

これまでの解体・リサイクル分野では、主に建設リサイクル法で指定された木くずのリサイクルとがれき類のリサイクルが主流でありその他は焼却や埋立処分されていた。また、木くずやがれきの原料から生産された再生品は、建設現場や特定の分野への供給であり、近年の経済状況や処理施設の充足により、原料と再生品それぞれの需要と供給のバランスが崩れだしている状況にある。

### 新事業

これまでの廃棄物再生処理には製品製造時多くのエネルギーを使い、活用用途も特定の範囲に限られていたが、新事業においてはそのエネルギーを最小限に抑えたリユースに重点を置き、ターゲットや市場を新たに開拓し、解体廃棄物の高度化利用をするものである。「建設資材」として提供するものとしては、家屋に使われている建材全般が対象であるが、主に木材のリユースを見込んでいる。また、リメイクして利用可能な家具類などは店舗及びインターネットでの販売に力を入れ、解体加工再利用することで解体廃棄物の有効還元活用を積極的に推進する。

消費者の低価格志向や節約志向が顕著である反面、環境意識の高まりや物づくりへの意欲がガーデニングブームへとつながり、リユース建材やエクステリア商品などの動きは活性化していく市場である。

更に法人需要が冷え込む中で、インターネットの普及とともに新たな個人需要が見込める  
これからのビジネスモデルである。

## (2) 事業モデル

# 解体革新を目指すエコリサイクル啓発事業

解体工事



### 従来型処理モデル 3K的イメージ

(中間処理業・最終処分業) **環境負荷大 費用大**

**破 碎**  
・がれき  
・木くず  
・廃プラ

**圧 縮**  
・廃プラ  
・スクラップ  
・ペットボトル

**焼 却**  
・可燃物

**埋 立**  
・再生不可物

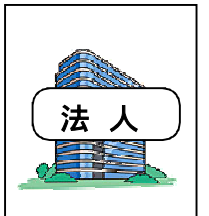
・再生骨材  
・チップ材

・原料

営業ツール

紹 介  
ツ テ  
実 績

主力ターゲット



### フロンティア型モデル 製造業的イメージ

(資源循環業・加工業) **省エネ 低価格**

**リユース**

**リメイク**

**リサイクル**  
・がれき  
・木くず

**加 工**  
・主に木部材

・木部材・家電  
・瓦・家具  
・サッシ・植木  
・その他

・リメイク家具  
・リメイクチェア  
・リメイクテーブル  
・その他

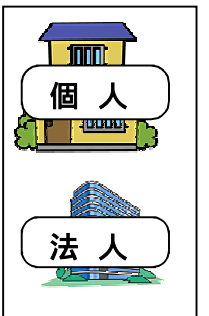
・再生骨材  
・チップ材  
・防犯砂利  
・その他

・ガーデニング  
テーブル  
・ガーデニングチェア  
・その他加工品

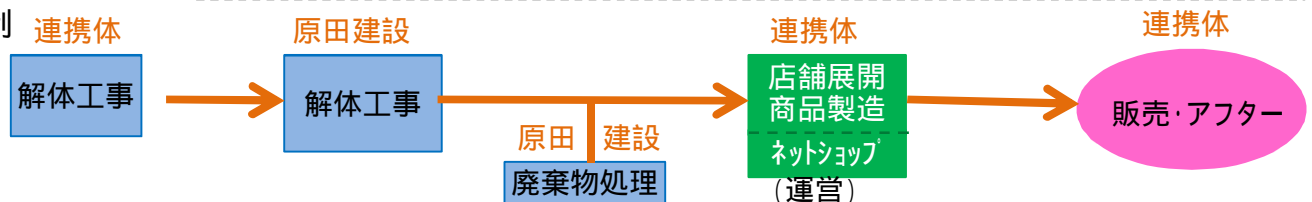
営業ツール

店 舗  
インターネット  
チ ラ シ  
イ ベ ント

主力ターゲット



## (3) 実施体制



将来的には「家一軒オールリサイクル」に対応できる資源循環型解体事業を目指す